

みずほCustomer Desk Report 2022/01/18号(As of 2022/01/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.35
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	114.31	1.1407	130.45	1.3672	0.7216
SYD-NY High	114.65	1.1434	130.83	1.3689	0.7229
SYD-NY Low	114.16	1.1392	130.36	1.3639	0.7196
NY 5:00 PM	114.61	1.1405	130.73	1.3644	0.7211
NY DOW	-	-	日本2年債	-0.0700	0.00bp
NASDAQ	-	-	日本10年債	0.1400	0.00bp
S&P	-	-	米国2年債	-	-
日経平均	28,333.52	209.24	米国5年債	-	-
TOPIX	1,986.71	9.05	米国10年債	-	-
シカゴ日経先物	-	-	独10年債	-0.0285	2.30bp
ロンドンFT	7,611.23	68.28	英10年債	1.1875	3.90bp
DAX	15,933.72	50.48	豪10年債	1.9100	6.40bp
ハンセン指数	24,218.03	▲ 165.29	USDJPY 1M Vol	6.16	▲0.09%
上海総合	3,541.67	20.41	USDJPY 3M Vol	6.34	▲0.16%
NY金	-	-	USDJPY 6M Vol	6.54	▲0.09%
WTI	-	-	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	-	-	EURJPY 3M Vol	6.72	▲0.10%
ドルインデックス	95.26	0.09	EURJPY 6M Vol	7.03	▲0.05%

東京	東京時間のドル円は114.31でオープン。米10年債利回りの上昇が下支えとなり、ドル円は午前の取引で一時114.51まで上昇したものの、その後は上値重くもみ合う展開。翌日に控える日銀金融政策決定会合の結果発表を控えて、終日を通して23銭の狭いレンジで推移し、114.50で海外時間に渡った。また、中国人民銀行はこの日、景気減速に対応するため、2020年4月以来初めて、中期貸出制度(MLF)金利を市場予想に反して10bp引き下げを実施したものの、市場の反応は限定的となった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は114.50でオープン。欧州株がプラス圏でスタートするも、ユーロ円の上昇が失速すると114.32まで押し戻された。その後は全般的なドル買いを受けて反発し、結局114.59でNYに渡った。
ニューヨーク	休場

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山口・鈴木

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月17日	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	12月 4.3% 3.7%
	11:00	中	GDP(前年比)	4Q 4.0% 3.3%
	11:00	中	小売売上高(前年比)	12月 1.7% 3.8%

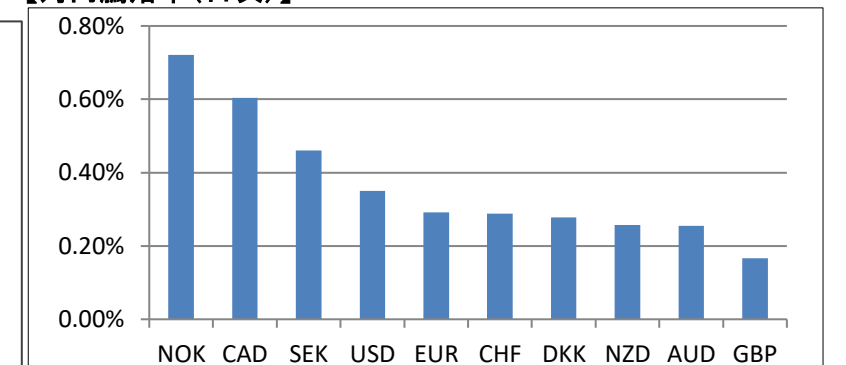
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月18日		日銀金融政策決定会合	-	-
	19:00	独	ZEW(景気期待/調査現状)指数	1月 32/-8.8 29.9/-7.4
	19:00	欧	ZEW景気期待指数	1月 - 26.8
	22:30	米	NY連銀製造業景気指数	1月 25.0 31.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.10-115.10	1.1360-1.1460	130.30-131.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はアジア株、欧州株が堅調推移する中、114円台後半まで上昇。その後、米国市場が休場の中、小動きの展開となった。

本日は日銀金融政策決定会合の結果が公表される。また、展望レポートで最新インフレ見通しも発表され、こちらの注目度も高い。足許のインフレ率上昇を受け、2022年度CPIについては前回10月時点の前年比+0.9%から同+1%台前半へ上方修正されるほか、物価見通しに関するリスクバランスが前回の「下振れリスクの方が大きい」から中立以上へ上方修正される可能性が一部で指摘されている。上昇修正を受け、日銀が金融緩和縮小に動くことになると円買いは加速するが、物価目標+2%までは日銀は金融緩和スタンスを維持すると予想され、日米の金融政策のスタンスの違いからドル円は上昇に転じると予想する。